

# 心

～育て、繋がり、育ち合う～

令和5年9月

高雄日本人学校

学級通信

発行者：村上 雅彌

校訓「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子

## さん、 さんの歓迎会！！

先週25日(金)に、さん、さんの歓迎会をしました。歓迎会では、歓迎のあいさつから始まり、お互いの名前を覚えるために、ゲームをして楽しみました。ゲームを通して、互いに協力して、進めることの大切さを学びました。



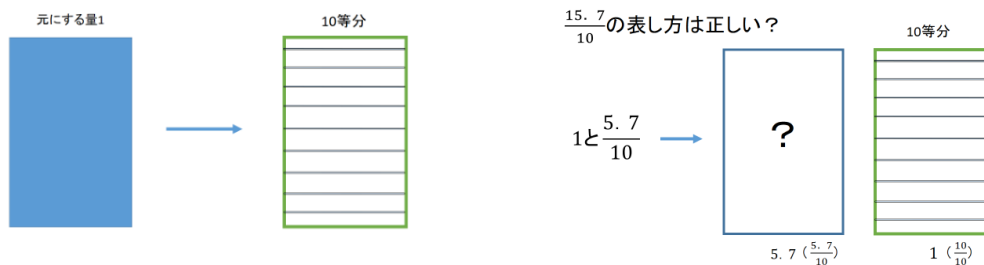
$\frac{15.7}{10}$ は正しい？正しくない？

算数の授業で、小数を分数に表す方法について学習しました。ある児童がこんな答えを発表しました。

「1.57を分数で表すと、 $\frac{15.7}{10}$ になる。なぜなら、分数を割り算の式で表すと、 $15.7 \div 10 = 1.57$ になるから。」と

いうものでした。立式と答えが成り立っているため、正解じゃないかと考える児童は他にもいました。1コマの授業では、この内容について詳しく説明する時間がなかったため、次の時間で取り上げ、みんなで考えるところから始めました。

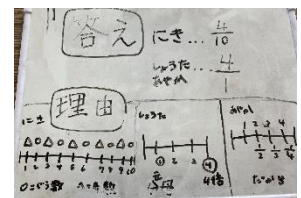
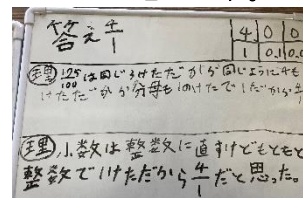
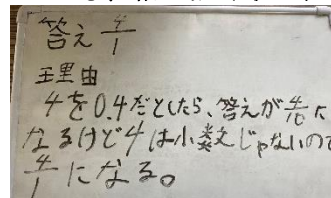
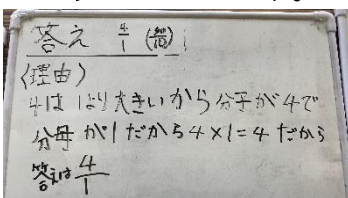
まず、「分数の分子に小数点があるのは見たことがありますか？」と問うと、みんなおかしいと感じているようでした。その次に、「分数の考え方に戻って考えてみましょう。」と問うと、それぞれが分数の考え方について説明してくれました。その後、思考を整理するために、下の図を使って、補足説明をしました。



図を見せた理由としては、分母を10にすることで、5.7の数を図で表すことができなくなってしまうことに気づかせたかったからです。図を見せると、それに気づき、「5.7を図で表すことができない」、「中途半端なところで分けないといけない」などの意見が出ました。学習したことを使って、説明する難しさがありました。

その後、児童は「整数4を分数に表す方法について考えよう」という課題を設定し、取り組みました。前時の振り返りをもとにして、問題に取り組み、根拠を持って問題を解くことができました。

算数の授業で大切にしていることは、答えがわかっていたとしても、なぜそうなるのかという理由を説明できるようにすることです。これからも、粘り強く取り組んでほしいと思います。





元気

頼もしい

団結力

向上心

令和5年8月31日(木)  
6年生 高雄プレス特別号2  
担任 山中豪

## 総合的な学習の時間

「総合的な学習の時間」をご存じでしょうか。30代以上の方は聞いたことがないという人もいるかもしれません。「総合的な学習の時間」は2002年に学習指導要領に位置付けられ、第3～6学年で年間70時間実施されています。子どもに身につけさせたい力とそのための活動内容を教師が考えて、学びを進めていきます。教科書はありません。そのため、学校によって学ぶ内容は様々です。

総合的な学習(探求)の時間は、変化の激しい社会に対応して、探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしている。

(文部科学省 HP)

難しく書いてありますが、要は“自分の人生を自分で考えて進んで行く力を身につける”ということかなと私は理解しています。

そこで、6年生の「総合的な学習の時間」では、

- ①台湾の歴史を知ろう
- ②平和について考えよう
- ③自分の将来のことを考えよう

の3本柱を立てました。

①の台湾の歴史を知ろうでは、台湾の歴史を6つの時代に分けて、自分が選んだ時代についてインターネットで調べてパワーポイントでまとめました。そしてみんなの前で発表しました。この学習では、必要な情報を調べる力、それを分かりやすくまとめる力、聞いている人に分かりやすく発信する力など、様々な力を高めることができたと思います。

現在は、②平和について考えようの学習を行っています。学習課題に対して自分なりの考えを持ち、自分にできることは何なのか？ということを考えていきたいと思っています。

